



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 天界 1934, 14(162)

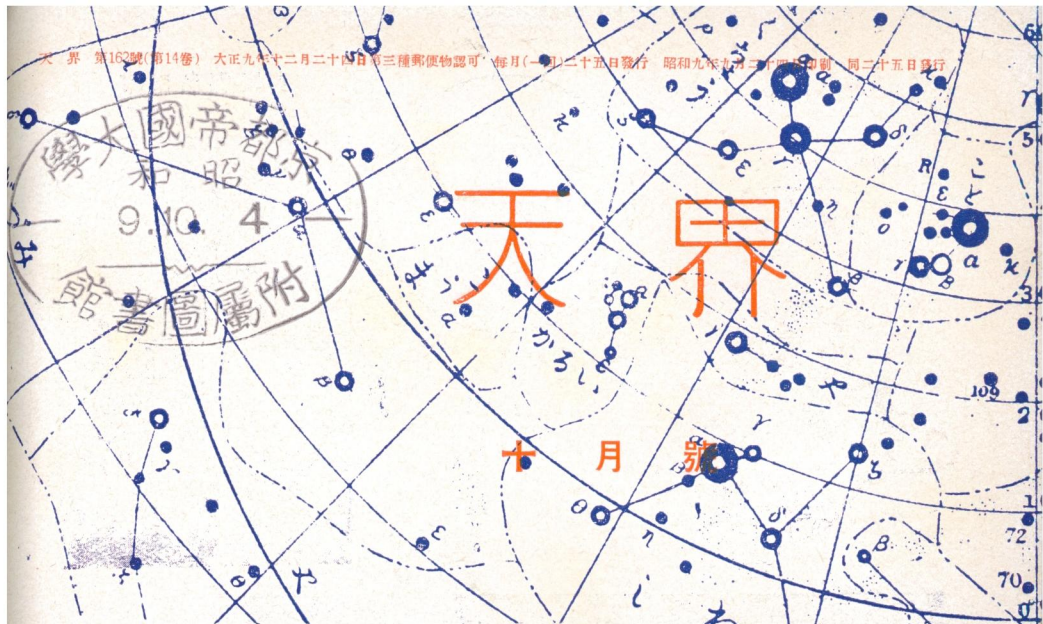
ISSUE DATE:

1934-09-25

URL:

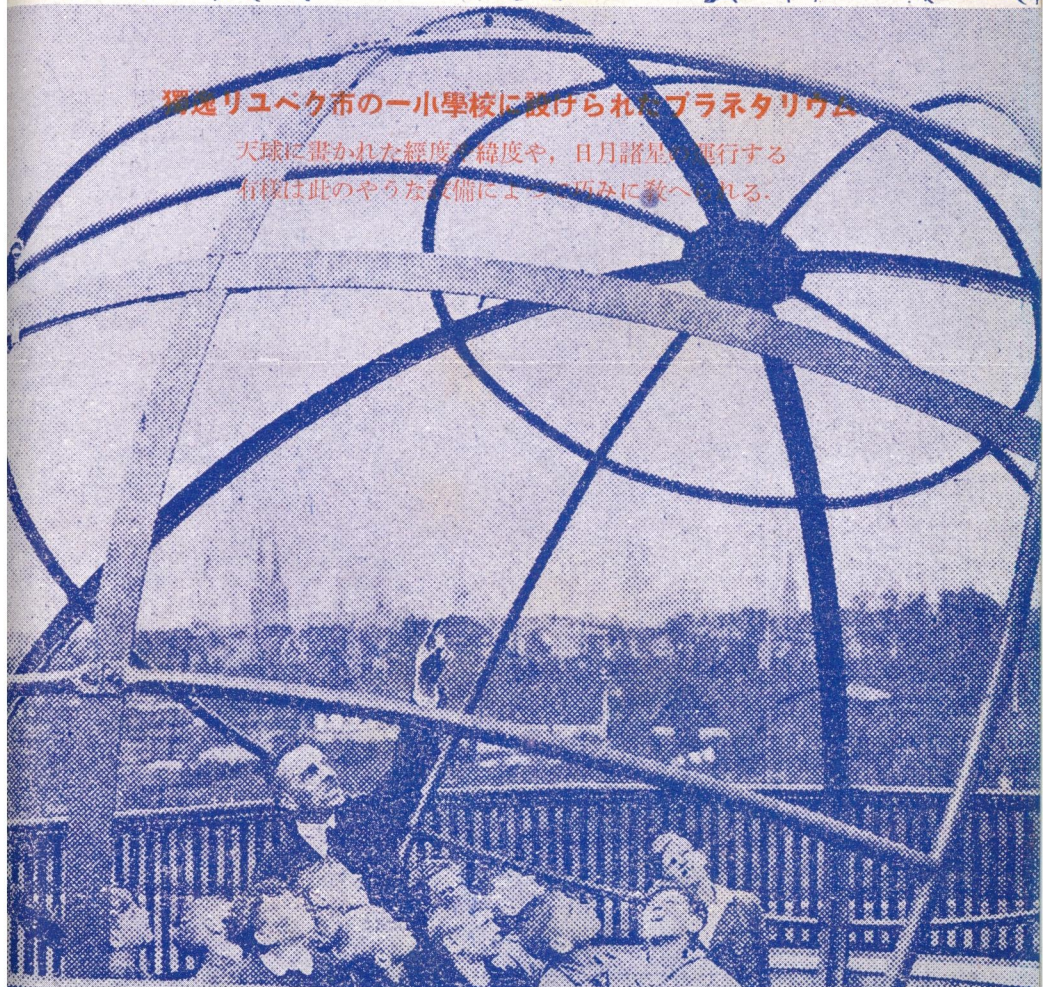
<http://hdl.handle.net/2433/166899>

RIGHT:

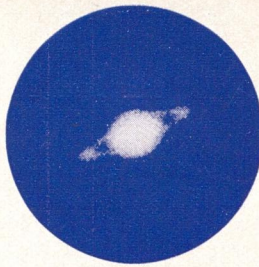
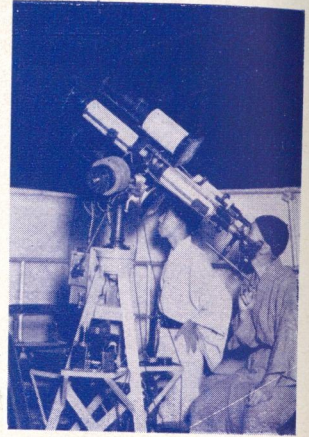


獨逸リユベク市の一小學校に設けられたプラネタリウム

天球に畫かれた經度と緯度や、日月諸星の運行する
行様は此のやうな設備によつて巧みに教へられる。

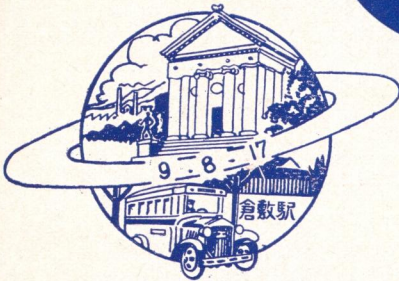


静岡縣島田町
清水氏の觀象臺



影した土星
清水氏の撮

世界にも例のない
土星を應用の
倉敷驛スタンプ



伊國の若き物理學者エンリコ・フェルミ博士

(ウラニウム以上の新元素を發見した人)



本年度の總會を開催する通知

昨年秋よりの懸案であつた本會の總會を愈々下記の次第によつて開催致します。

日 時 十月二十日(土曜日)午後二時より(晴雨を論ぜず)

場 所 京都帝國大學花山天文臺本館にて

— プ ロ グ ラ ム —

1. 開 會 } 午後2時より
2. 協 議 會 }
3. 講 演 午後3時より { 『ミラ星の話』 小山理學士
『天文教育に關する私見』 山本一清博士
4. 研究發表座談會 午後4時より 參集會員有志
5. 晩 餐 會 午後6時より 會 員 有 志
6. 觀測見學會 午後7時よりクック30糎屈折機にて月、土星の觀測、
子午線_L測時_T觀測の見學(曇雨天の場合は幻燈映寫)
7. 閉 會

參 集 者 へ 御 注 意

1. 總會出席者は豫め_Lはがき_Tにて總會出席の旨住所姓名明記の上(本會の準備の都合上)來る十月十八日までに花山天文臺内本會事務所宛御通知下さい。
2. 協議會に於いて、本會の事務報告、役員改選、其他協議を致しますから出席の方は協議案を豫め御準備下さい。
3. _L研究發表會_Tは主として會員諸君の爲めに設けられた自由な座談的の討論會ですから、その種類の如何を限らず一人でも多く題目を提出してこの機會を利用して頂きたい。此の時間の一部を以つて天文用語に關する意見の交換をなす豫定です。
尙この發表會に日常の研究を發表される方は、豫め發表の内容梗概(所要時間15分までとす)を十月十八日までに本會宛御送付下さい。
5. 晩餐會は天文臺談話室にて開きますが、參加希望の方は出席申込みと同時に豫め御通知下さい。(費用は約50錢)
6. 總會開會に先立ち會員に限り當日午後一時より天文臺構内を開放されますから、隨時縱覽して下さい。
7. 夜間、大望遠鏡で天體觀望の外、特に子午線觀測を見學致しますが、曇雨天の場合は幻燈映寫を致します。
8. 總會に就き御不審の點は_L往復はがき_Tにて本會事務所へ御問合せ下さい。

東 亞 天 文 協 會

昭和九年十月總會は下の如く開きます。好い時候になりましたから例により遠近より會員諸氏の來會を歓迎します。

時日：十月二十日(土曜)午後三時

場所：京都帝國大學花山天文臺

電車は東山通仁王門にて乗り換へ、東行し、「蹴上げ」で下車、それ

から東海道筋を五丁ほど東進し、「花山道路」に入る、

又は、三條大橋から「花山道路」入口まで乗合バスあり。

當日、參集會員諸氏のため**天文臺の公開**があり、月や土星を觀望します。

天界 第百六十二號 (第十四卷) 昭和九年十月號 要目

(口繪)獨國リュベック小學校のプラネタリウム、白斑を持つ土星、オリオンカイヤムの墳墓、清水氏撮影の土星、新元素發見者フエルミ博士、

編輯室より	441
月の表面を面白く觀測する手引	山本一清 442
天文用語に関する私見(4)	(山本生) 447
光の傳はる速度	451
研究 天界新知識(13件)	453
東亞天文協會觀測部月報○掩蔽課○流星課○黃道光課○彗星課	
○寫真課○遊星面課○變光星課○太陽課	459
欄 Ap. J. 及び M. N.	467
京都天文學會々員名簿	469
花山だより	471
月世界への憧憬	472
5米の大反射鏡の製作進況製作進況	474
昭和九年十月の天象	476
昭和十年の略曆	478
通信	446, 475, 480

Contents of the HEAVENS, No. 162 (October 1934)

School Planetarium at Lubeck (Cover); Saturn with the White Spot, Tomb of Omar Kayyam, Mr. Simizu's Photograph of Saturn, Dr. Fermi the Discoverer of the New Element (Frontispieces); Editorial (441); *Isei Yamamoto*, An Introductory Remark for Selenographic Observers (442); *I. Y.*, My Views on Astronomical Terms (447); The Velocity of Light (451); LATEST NEWS ON ASTRONOMY (453); Monthly Reports of Observing Section, Oriental Astronomical Association (459); Latest Foreign Astronomical Literatures, Ap. J., A. J. & M. N. (467); Kyoto Astronomical Society, Member List (469); Kwasan Notes (471); Admiration of Moon (472); The Progress of the 5m Reflector (474); The Heavens of October, 1934 (476); Short Calendar of 1935 (478); Letters & Communications (446, 475 & 480).

東亞天文協會

會員に關する報告 (8月8日—31日)

〔入會〕	富原守清	沖繩縣首里市眞和志町二ノ22
	吉澤覺文	京都市左京區田中高原町16ノ1
	田中岩吉	兵庫縣武庫郡本庄村, 神戸高等商船學校
	橋浦昌雄	伯國サンパウロ州ノロエステ線ルツサンピラ驛第一 アリアンサ移住地
	神園年雄	同上
	山下 皐(ハルカ)	同上
	菅原信義	同上
	岡本正藏	岡山市三門二丁目, 武南方
	泉谷忠一	京都市左京區北白川平井町31
	村澤正人	長野縣下伊那郡, 下久野小學校
〔觀測部加入〕		
〔轉居〕	八幡修一	長野縣岡谷西堀
	尾崎義夫	別府市外龜川町四ノ湯 (元岡山)
	魚返隆	熊本醫科大學內
	西岡永太郎	東京市澁谷區八幡通一ノ21(元奉天)

注意 移轉の節は直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。

事務室

第四版

古賀恒星圖

本會大牟田支部幹事
古賀和吉氏作
價30錢 送料2錢

本會々長 理學博士
山本一清氏校訂
(簡入小包送料13錢)

改正第七版

簡易星圖

大きさ 40 センチ × 50 センチ, 肉眼恒星約 1000個.

一枚十錢 (送料 共)

大正九年(1920年)創立，昭和七年(1932年)改名

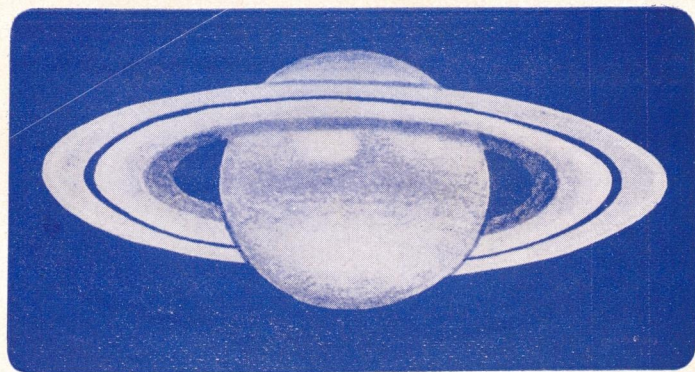
一支 部一

垂石	井小村改大水森	河真惠廣内山古村太荒	五宮	上三米柴佐西	松水	agata	amiya(神屋信一)
井橋	伊槇山發島野本	路田藤津海本質上田川	藤島	條澤田原藤岡	本口	長田	武次政
増	秀二辨香文千慶	甲安一藤孝和太次忠	齊一	情勝勝小興太	武次政	男郎二	
太榮	秀二	午安一藤孝和太次忠	齊一	情勝勝小興太	武次政	男郎二	
郎達	勇郎次塲義里三	郎夫郎吉夫齊吉郎郎一	三郎	人衛彦市三郎	男郎二		

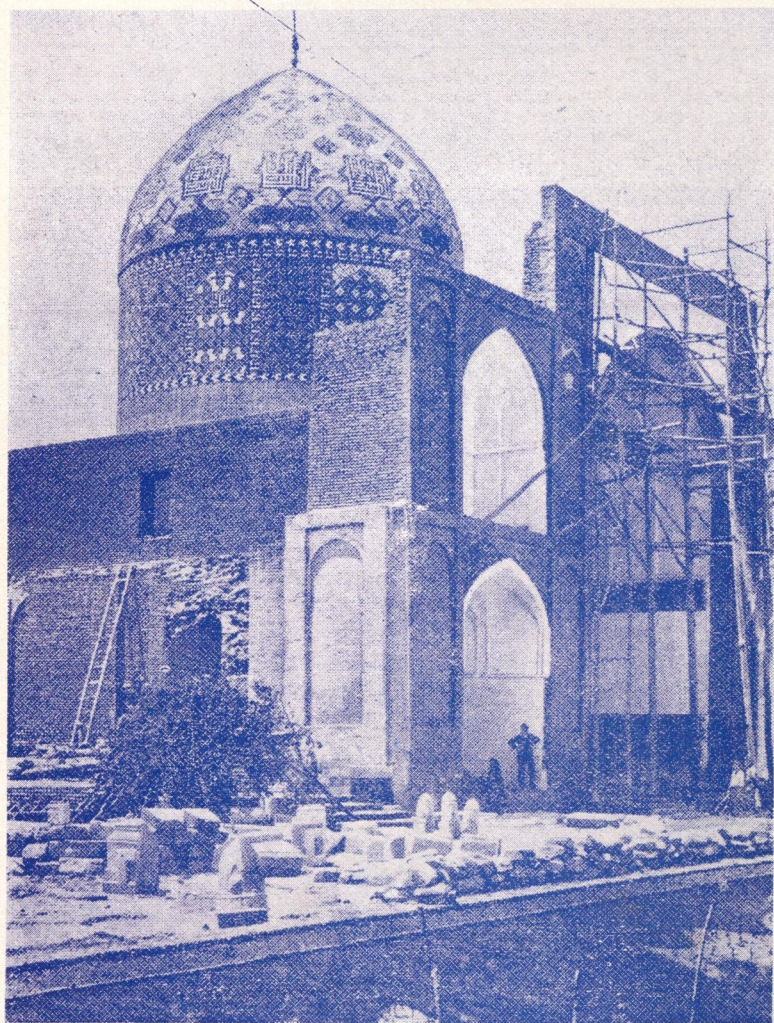
編輯發行者 京都市山科、花山天文臺內(振替大阪56765) 東亞天文協會(代表者山本一清)
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂〔電本426、427、4501〕
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 福社 井松之助
東京市芝區南佐久間町2の3 恒星 福社(振替東京64738)

土星

昨一九三三年の白斑スケチ



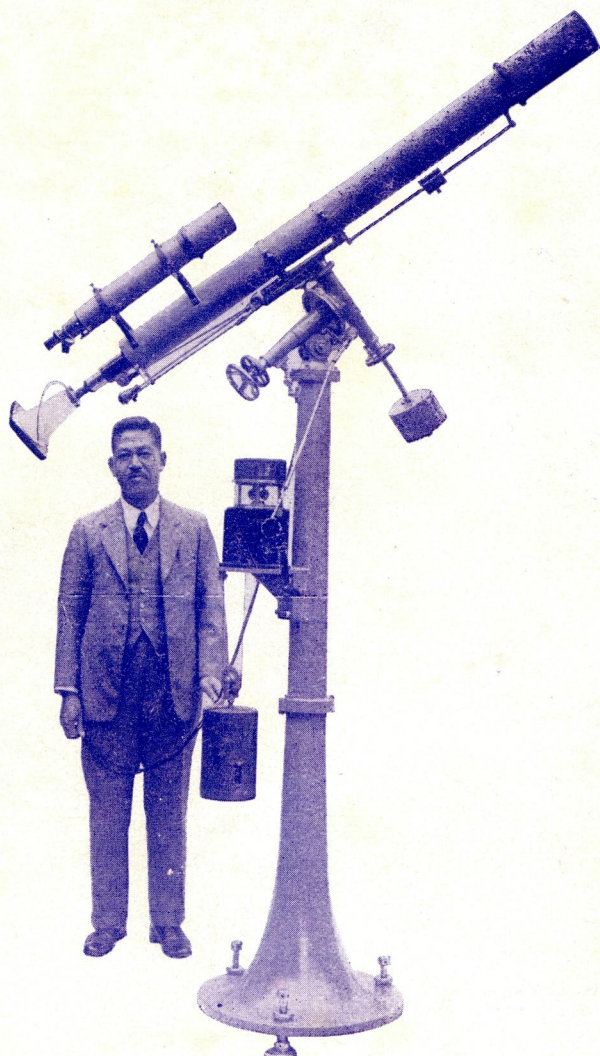
ペルシャの詩人
天文家 **オーマー・カイヤム** の墳墓



Goto's Astronomical Telescopes.

五 藤 式 天 體 望 遠 鏡

型 錄 進 呈



十 糎 赤 道 儀

倍 率
附 屬 品

三 八 一 三 七 五
運 轉 時 計 ・ サ ン ア ン ド ム ー ン カ メ
ラ ・ コ メ ッ ト フ ァ イ ン ダ ー 其 他 完 備

五 藤 光 學 研 究 所

東 京 市 世 田 谷 區 弦 卷 町 一 ノ 一 四 三
電 話 世 田 谷 三 〇 五 〇 振 替 東 京 七 三 二 五 五